生涯チャレンジプロジェクト

～世代を超えて挑戦できるまちづくり～

ボランティアマニュアル

２０２２年度

公益社団法人　呉青年会議所

高齢者つながり推進委員会

－　目　次　－

１．　事業概要
【開催日程】
【開催場所】
【内容について（タイムスケジュール等）】

２．　実施運営マニュアル
【服装】
【新型コロナウイルス感染症対策について】
【会場レイアウト・受付・配置図】
【事業撮影】
【新型コロナウイルスによる中止判断】
【Q＆A】

３．　注意事項

４．　安全マニュアル

１．事業概要

【事業目的】

高齢者に楽しくつながる新たな環境づくりのためのスキルアップをさせる

【具体的手法】

呉青年会議所のメンバーと、呉市と地域包括支援センターおよびボランティアスタッフが協働して、参加者にＬＩＮＥの使い方とけん玉の遊び方を、オンライン講師のレクチャーに沿って教えてあげてください。

【開催日程】

２０２２年　５月８日（日）

ボランティア集合時間：１２：００（昼食は事前に済ませておいて下さい）

※時間厳守でお願いします、遅刻する場合は公式 LINE にご連絡ください。

１３：００～（受付開始１２：３０～）１５：１５

【開催場所】

事業範囲：呉市全域（各包括支援センターが管轄する地域８か所）

● **会場１（メイン）：広まちづくりセンター（阿賀、広、仁方、郷原地区）**

〒７３７－０１１２　広島県呉市広古新開２丁目１番３号

TEL：０８２３－７１－２１５１

アクセスマップ

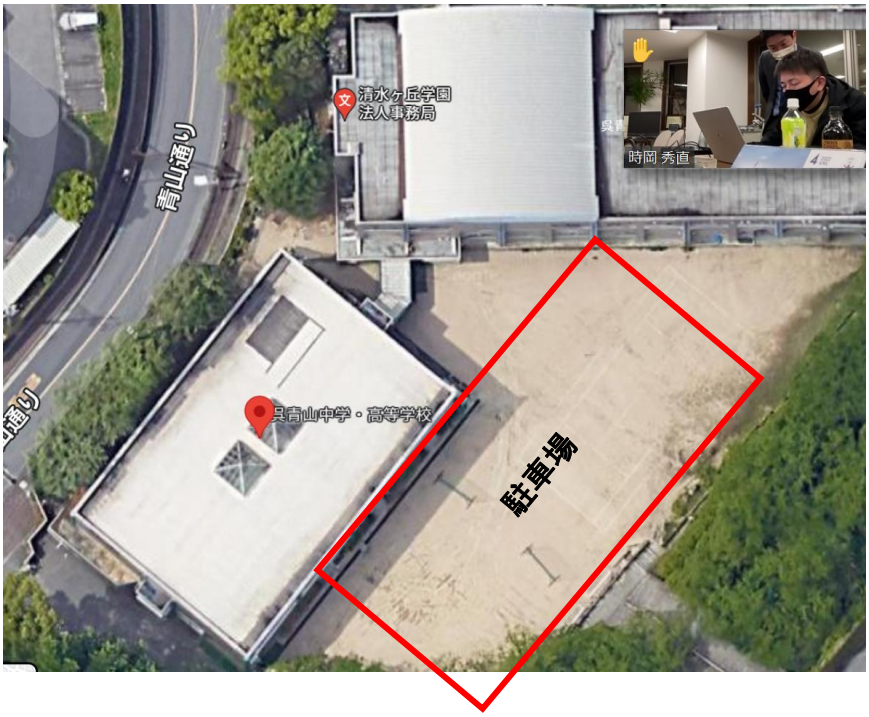
＊一般駐車場をご利用ください。

● **会場２（サブ）：呉青山中学・高等学校体育館（中央地区）**

〒７３７－００２３　広島県呉市青山町２－１

TEL：０８２３―３２－１７２１

＜駐車場＞



● **会場３（サブ）：呉市立昭和西小学校体育館（昭和対象地域）**

〒７３７－０９０８　広島県呉市焼山宮ヶ迫１－３－１

TEL：０８２３－３３－０４１４

＜駐車場＞

● **会場４（サブ）：警固屋まちづくりセンター（宮原、警固屋対象地域）**

〒７３７－００１２　広島県呉市警固屋２丁目２２２番地

TEL：０８２３－２８－０２００

ア ク セ ス マ ッ プ

＊一般駐車場をご利用ください。

● **会場５（サブ）：安浦まちづくりセンター（川尻、安浦対象地域）**

〒７３７－２５１６　広島県呉市安浦町中央４丁目３番２号

TEL：０８２３－８４－３６３６

ア ク セ ス マ ッ プ

＊一般駐車場をご利用ください。

● **会場６（サブ）：吉浦まちづくりセンター（天応、吉浦対象地域）**

〒７３７－０８５２

広島県呉市吉浦東本町１丁目７番２３号（吉浦市民センター２階）

TEL：０８２３－３１－７５４０

ア ク セ ス マ ッ プ

＊一般駐車場をご利用ください。

● **会場７（サブ）：呉市豊公民館（下蒲刈、蒲刈、豊浜、豊対象地域）**

〒７３４－０３０１　広島県呉市豊町大長５９１５－３

TEL：０８２３－６６－２１１１

ア ク セ ス マ ッ プ

＊一般駐車場をご利用ください。

● **会場８（サブ）：総合ケアセンターさざなみ（音戸、倉橋対象地域）**

〒７３７－１２０６　広島県呉市音戸高須３丁目７－１５

TEL：０８２３－５０－０６１１

＊一般駐車場をご利用ください。

＊貴重品、荷物は各自で管理お願いします。

【内容について（タイムスケジュール等）】

２０２２年　５月８日（日）

１２：００～　集合（昼食は事前に済ませておいて下さい）

１２：１５～　全体 ZOOM ミーティング

１２：３０～　受付開始

１３：００～　関係者挨拶

１３：０７～　ＬＩＮＥ講座開始

１４：０２～　休憩（トイレ休憩のみ）

１４：１２～　けん玉講座開始

１５：１２～　担当挨拶

１５：１５～　終了、各会場片付け

１６：１５～　解散

【集合場所について】

会場	集合場所
会場１（広まちづくりセンター）	３階ホール
会場２（呉青山中学・高等学校体育館）	３階体育館
会場３（呉市立昭和西小学校体育館）	体育館
会場４（警固屋まちづくりセンター）	２階ホール
会場５（安浦まちづくりセンター）	４階軽運動室
会場６（吉浦まちづくりセンター）	４階ホール
会場７（呉市豊公民館）	１階ホール
会場８（総合ケアセンターさざなみ）	多目的ホール

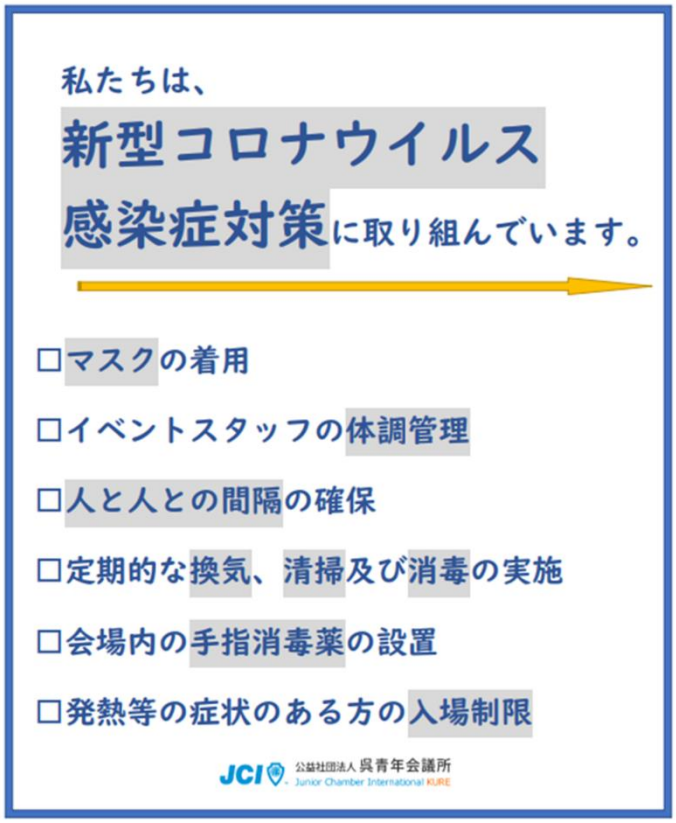
2．実施運営

【服装】

学生服、動きやすい恰好

※短パン、サンダル不可

【新型コロナウイルス感染症対策について】



※ 必ずマスクの着用と当日の朝に検温を行って来てください。

※ 体温が３７．５℃以上の方は参加をご遠慮ください。

＜事前準備の流れ＞

- **１２時集合**
- １２時１５分頃より ZOOM での全体ミーティングを行い、関係者の挨拶を行います。その後、各会場の細かな質問や確認事項を各責任者より伝達してもらいます。
- １２時３０分受付開始します。

＜ボランティアの皆様にお願い＞

- 各参加者がテーブルについたと同時に、LINE アプリと公式 LINE アカウントの登録を確認して、未登録の場合は、事業開始前に登録できるようフォローしてください。
- 当日、オンライン配信にて全講義を進めていくため、講師の方から現場の状況が把握しきれません。なんらかの問題で現場の理解度が追い付かない場合は、講師との連携を取りながら講義スピードの調整や、再度の説明等を依頼していただければと思います。当日は、会場の各責任者と講師間の ZOOM チャットを利用して、円滑なコミュニケーションを取れるように準備しております。何かあった場合は、会場責任者に報告してください。
- オンライン配信のため、講師の熱量やテンションが現場に伝わりにくいことが考えられます。運営スタッフと参加者で笑顔と楽しみを欠かさずに盛り上げていただけると助かります。
- 参加者が講座についていけるようにきめ細やかなフォローができる体制でお願い致します。

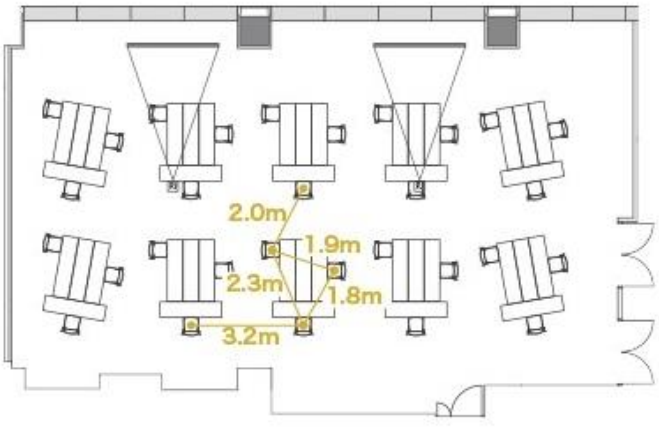
＜休憩＞

休憩時間は１４時～１４時１０分までしかありません。この時間はトイレ休憩のみとさせていただき、残り時間は、参加者とのコミュニケーションを取っていただければと思います。

≪全体責任者≫・・・実行委員長　應和悠太

【会場レイアウト・受付・配置図】

≪会場レイアウト≫



※ 全会場同様

≪受付について（会場１～８同様）≫

内容：参加者の体調確認、参加者スマートフォンの充電確認、参加人数の確認 、名簿の確認、

場所：各会場入り口付近

手順：①受付待ち参加者のソーシャルディスタンスを誘導する。

②手指消毒後に検温して、体温を参加者に伝える（消毒・検温は受付に入る前に屋外にて実施）。

③受付へ誘導する。

④参加者名簿に記入する。

⑤ＬＩＮＥ資料とけん玉を渡す。

席番が記載されてある首掛けネームプレートを渡す。

＊受付時に貴重品は各自で管理して頂く事を伝える。

⑥受付終了後、参加者を座席へ誘導して下さい。

⑦座席へ誘導後、テーブル担当者となった方はＬＩＮＥアプリと公式ＬＩＮＥアカウントをもっていない参加者に両者を登録できるようにフォローを行う。

≪開会式（13：00～13：07）とその流れについて≫

- 参加者は座席からスクリーンを見てもらいます。ボランティアの方は、スクリーンに被らない場所で式をて迎えてください。
- 流れは、ZOOM にて関係者挨拶→概要説明→ＬＩＮＥ講座開始となります。
- 挨拶が終わり次第、ボランティアの方は持ち場に移動を開始してください。
- ボランティアの方は、担当しているグループ内の参加者全員で自己紹介を始めてください。

【ＬＩＮＥ講座】（13：07～）

流れ：

1. 本事業でＬＩＮＥを選択した趣旨説明をします。
2. この度立ち上げた公式ＬＩＮＥアカウントの説明をします。
3. 「ＬＩＮＥ講座」資料に沿って説明をしていきます。
4. Ｐ４～９の写真や動画を撮る、それらをトークで送るところまでを実践まで講座を進めていきます。全参加者がしっかり理解できるようにフォローしていただきます。
5. Ｐ１０以降の機能については、口頭での講座のみとなります。
6. 講座中または空き時間で現場の余裕がある場合は、楽しく高齢者の方とコミュニケーションをとってください。

【けん玉講座】（14：12～）

※ボランティアの方も高齢者の方と一緒に楽しみながら講座を受講して下さい。
その上で、高齢者の方のフォローもお願いします

流れ：

1. 講師からけん玉の歴史を話してもらいます。
2. けん玉に慣れるために、けん玉を使った体操を行ってもらいます。
3. メダルチャレンジトリックと言う、一般的なけん玉の技（大皿など）の成功率を上げるために考案された技を行ってもらいます。全参加者がメダルトリックのコツが理解できるようにしっかりフォローしていただきます。また技ができなくても、前向きな声かけをお願いします。
4. 一般的なけん玉の技（大皿ともしかめ）を練習してもらいます。全参加者が少しでも成功率を上げられるように、講座を振り返りながらしっかりフォローしていただきます。また技ができなくても、前向きな声かけをお願いします。
5. 練習の成果をショートチャレンジとして、緊張感をもって挑戦してもらいます。技ができなくても、挑戦したことがすばらしいというような前向きな声かけをお願いします。
6. けん玉が上手な人を人選して、呉市全域を巻き込んだ挑戦を ZOOM を繋ぎながらしていきます。
7. シニア世代ワールドカッププレイヤー大和さんからの対談を聴いてもらい、事業終了です。
8. 最後の残りの時間を使って、けん玉の練習をしながらその風景を写真や動画に収めてもらいます。知人やご家族へＬＩＮＥトークで写真や動画を送る実践も促してください。

≪講座の流れについていけない場合≫

各会場の責任者と講師を繋ぐ ZOOM チャットの方に、「地区、グループ番号、状況」を書き込んでいただけると講師に随時調整を依頼します。

例）「吉浦、Ｃ、写真の撮り方遅延してます」
「広、B、動画の取り方もう一度説明お願いします」
「焼山、Ａ、けん玉大皿で遅延してます」など

以上で初日のプログラムは終了となります。ボランティアの皆様は片付けのご協力をおねがいします。各会場責任者よりボランティア証明書を受け取り解散して下さい。

【事業撮影】

可能であれば高齢者の方と楽しく交流している風景をスマートフォンで撮影していただき公式 LINE アカウントへ投稿してください。

【新型コロナウイルスによる中止または延期の判断基準】

- 緊急事態宣言が発令された場合
- まん延防止等重点措置が適用された場合
- 高齢者の陽性率１０％を超えた際は延期

≪ボランティアの皆様へお願い≫

ボランティアの皆様は、事業のスタートから終わりまで、参加者と共に行動してもらいます。一緒に楽しみながらサポートをしてあげて下さい。

【Q&A】

感染症対策について

Ｑ０１．感染症対策では何を消毒すれば良いですか？
参加者の手に触れたものはすべて消毒してください
（けん玉、ペン、机、椅子など）。
ただし、消毒して不具合がでるものは消毒を避けてください（紙、精密機器など）。

Ｑ０２．マスクを忘れた参加者がいた場合、どうすれば良いですか？
配布用の不織布マスクを準備しておりますので、渡してください。

Ｑ０３．マスクをつけられない参加者がいた場合、どうすれば良いですか？
マスクをつけると身体的な問題が起こる場合は、マスクなしで参加を許可してください。また、その旨をグループ担当者に伝えてください。

Ｑ０４．熱があっても参加したいという人がいた場合、どうすればよいですか？
３７．５℃未満であれば、参加を許可してください。その他風邪症状がある場合は、会場責任者に相談してください。

ＬＩＮＥ講座について

Ｑ０５．ＬＩＮＥ講座の時に参加者のスマートフォンを操作してもよいですか？
必ず参加者に「私の方で操作しても良いですか？」と確認してください。

Ｑ０６．ＬＩＮＥテキストをコピーして配って良いかと聞かれたら、どうすれば良いですか？
「コピーして配るのは本事業では許可しておりません」と伝えてください。

Ｑ０７．ＬＩＮＥ講座の内容をすべて理解している人がいた場合、どうすれば良いですか？

講座の流れに沿って、おさらい程度に聞いてもらってください。参加者同士で教え合う雰囲気を作っていただいても構いません。

Ｑ０８．参加者のスマートフォンの充電がない場合どうすれば良いですか？

充電が切れた場合は、テキストのみの参加となります。

Ｑ０９．事業中にスマートフォンに不具合が出た場合は、どうすれば良いですか？

当日のスマホの貸し出しはありません。基本的に講義を聴くだけの参加になります。可能であれば、メンバーのスマートフォンを用いてレクチャーするなどの工夫はしていただけると助かります。

Ｑ１０．ＬＩＮＥ非対応のガラケー、ガラホを持っている参加者がいた場合は、どうすれば良いですか？

基本的に講義を聴くだけの参加になります。可能であれば、皆さんのスマートフォンを用いてレクチャーするなどの工夫はしていただけると助かります。

Ｑ１１．当日ＬＩＮＥアプリをインストールできない場合はどうすれば良いですか？

ｉＰｈｏｎｅに限りパスワードがないとＬＩＮＥアプリがインストールできません。参加者がパスワードを覚えておらず、インストールできない場合は、テキストを見ながらの座学形式で参加してもらうようにしてください。

けん玉講座について

Ｑ１２．けん玉に不具合が生じた場合どうすれば良いですか？

（糸が切れる、お皿が外れるなど）

現場責任者に相談してください。その場で直すか、別のけん玉と取り替えます。

Ｑ１３．立つとふらつきが強くなる参加者はどうすれば良いですか？

座って行うよう促してみてください。

その他

Ｑ１４．耳が遠い（難聴）参加者への声掛けはどうすれば良いですか？

ゆっくり、はっきりとした言葉でコミュニケーションを取ってください。声の音量についえは、参加者と相談しながら聞きやすい音量を調整してください。万が一それでも難しい場合は、会場責任者に相談してください。場合によっては、筆談（紙に字をかいてコミュニケーションを取ること）をしてもらうかもしれません。その場合、講座についていくには難しくなるので、現場判断でできるところまでのレクチャーとして良いです。

Ｑ１５．事業中に関節痛や筋肉痛を訴えた場合、どうすれば良いですか？

痛みのない範囲で事業に参加するよう促してください。どうしても難しいようなら、会場責任者に相談してください。

Ｑ１６．車いすの参加者が来られた場合どうすれば良いですか？

椅子を減らしてそのまま参加してもらってください。

Ｑ１７．トイレに連れて行ってほしいと言われた場合、どうすれば良いですか？

「トイレへ案内することはできますが、介助はできませんが良いですか？また行きだけの誘導で、帰りは付き添えませんが良いですか？」と伝え、対応することになれば案内中のフォローを近くのボランティアスタッフにお願いして下さい。

Ｑ１８．介助を求められた場合、どうすれば良いですか？

個人で“安全に”できると判断できればしてもらって構いません。ただし、少しでも不安がある場合は、「介助支援は何かあった時の保証ができないので、出来かねます」と伝えてください。

注意事項

【注意事項】

★ 高齢者の方々と接する機会です。優しい対応を心掛けて下さい。

★ 事業を行う上で、スタッフの方全員が何事も安全に行い、事故防止に努める義務があります。

① 事業終了後は清掃を行い、使用前よりきれいな状態に戻して下さい。

② 事業終了後はレンタルした備品を必ず指定の場所へ返却して下さい。

③ 貴重品、荷物は各自で管理をお願いします。

④ 当日は一般の方が利用される会場もあります。ご迷惑をおかけしないよう、注意してください。

安全マニュアル

【事業実施における心構え】

・ 事業を行う上で、スタッフ全員が何事も安全に行い、事故防止に努める義務があります。

・ 万が一事故や病気になってしまった時には、出来る限りの対処・応急処置をする必要があります。

・ 万が一の事故などに備え、被害を最小限にするための対応が出来るよう、本マニュアルを熟読した上で、本事業に臨んで下さい。

【事業実施中の連絡・報告】

各担当現場で起きた事柄については、基本的にそれぞれの会場責任者レベルで判断し、対応します。

事業実施中に事故や病気など問題が発生した際には、速やかに**各会場責任者**へ連絡・報告して下さい。

【事業における危険要素と安全確保について】

★ 自然による危険

〈地震〉

○ 倒壊や土砂崩れが起こる可能性がある場所には近寄らない。

○ 会場本部（受付会場）にて地震の状況を把握する。

○ 状況を把握した上で、事業の続行・中止を判断する。

○ 事業の続行・中止を連絡してまわる。

○ 地震による津波が想定される場合は、事業を中止し、高台への避難を誘導する（事業参加中で、車が駐車場にある場合は、車での避難は行わず徒歩にて避難を行う）。

〈落雷〉

○ 雷鳴が聞こえた際には、すでに落雷の可能性があります。

○ 姿勢を低くして避難します。

○ 頑丈な建物や、自動車など金属に囲まれた乗り物は安全です。

○ 送電線の下も安全（避雷針の役割をする）ですが、２ｍ以上は離れましょう。

○ 木の直下は、そこに落雷した場合大変危険です。木より２ｍ以上離れ、木の頂点を４５度の角度で見上げるようにしゃがみましょう。

〈その他〉

○ 当日６：００の時点で、警報が発令されている場合、またはその他気象における影響でイベント実施が不可能と判断した場合は、事業を中止します。

○ 連絡に関しては、各委員会の幹事・セクレタリーに電話連絡致します。

★ 物による危険

〈食べ物〉

○ アレルギーの危険が考えられます。

○ 症状：嘔吐、下痢、激しい腹痛　など。

○ 嘔吐・下痢により脱水症状になる可能性があるので、水分補給と適当な塩分、糖分などの補給に気を配ってあげて下さい。

○ 嘔吐がある場合は、吐きやすい体位をとり、窒息しないように留意しましょう。

【事故が起こった時の対応について】

〈事故への対応手順〉

～　事故に対応する前に　～

① 冷静になる。

② 自分自身の安全を確保する。

③ 事故車以外の人たちの安全を確保する。

～　周囲の状況と事故者の様子の把握　～

① 状況の把握

全体の状況を正しく迅速に判断します。事故者が何名いて、どういう状況なのか。

それにより、直ちに何をすべきか判断しましょう。

② 救助に向かう判断

現場のスタッフだけで十分に対応できる状況なのかを判断しましょう。その場での対応が難しいと判断した場合は、迷わず救急車（１１９）を呼んで下さい。

③ 救急処置

心肺停止、呼吸停止、大出血など生命に関わる状態の時は、救急車を呼ぶと同時に、直ちに心肺蘇生や止血などの応急手当を行います。

④ 搬送

移送は、出来る限り救急隊に任せる必要がありますが、救急車やレスキュー隊がすぐ来られない場合や、一刻も早く医療機関へ運びたい場合などは、スタッフが率先してお手伝い願います。

⑤ 専門医への引き渡し

事故者を医療機関へ引き渡せたら、落ち着いて次にとるべき行動を考えましょう。場合によっては事業の中止の必要がありますが、そう判断した時には、速やかに総合責任者へ報告して下さい。

【関係者への連絡】

〈会場責任者への連絡〉

○ 対処は、基本的に担当責任者が判断しますが、たとえ現場での処置が済んだ場合でも、会場責任者へ必ず事故等についての報告を行って下さい。

【救急処置方法について】

〈意識がない場合〉

① 意識の有無を確認します。

② 大声で近くの人を呼びます。

救急車を要請してもらいましょう。